

マシル除草剤（ハイバーX……地上部のみ）など、茎葉処理除草剤の使用が増加している。地下栄養系繁殖型雑草の中で、サトウキビ畑のみならず、沖縄のすべての畑地において最も重要な雑草は、ムラサキカタバミであろう。地上部のみの抑圧だけであればかなり容易で、それができる薬剤は種々ある。しかし、地下にある鱗茎まで枯殺する除草剤はパラコート除草剤とグリホサート除草剤である（現在実施している適用性試験の中には有望な薬剤もある）。グリホサート除草剤は最も強力で、ほとんどの雑草の枯殺に有効であるが、栽培畑地内使用が認められていない今日、畦畔侵入雑草の阻止あるいは休閑を導入した除草体系を組入れるなどしかない。また、沖縄では圃場の一筆面積が小さく、日中は海風が割に強いため、隣接圃場との関係で、使用に当ってはかなりの注意が必要である。

現在、沖縄県農試では、グリホサート除草剤によって、ムラサキカタバミやハマスゲ等、植物体の小さな雑草の地下鱗茎まで枯殺できるこ

と、さとうきびが粗剛な作物で、これらの雑草との間に薬剤耐性に若干差がみられるところから、その薬剤耐性の差を利用して、さとうきび畑地において休閑することなく駆除できないものかなど目論んでいるところであるが、この場合、栽培畑地内使用が認められていない点問題になる。

さとうきびは、粗大で生育旺盛な点から、諸外国ではその雑草抑制力に着目し、速やかに畦間を覆う能力(草型)を品種選定の一項目として取扱っている場合があるが、わが国では近年水稻をはじめとして、受光態勢の面から立葉型の品種を嗜好する方向にある。その点、品種とのかかわり合いにおいて、除草問題も一考を要するのではないかと思われる。

いずれにしても、沖縄県においては雑草の基礎研究、なかでも生態の研究蓄積が少ないため、除草剤による除草作業の省力化を推進するには、着実な雑草の生態解明が必要である。

参 考 文 献

- 1) 仲宗根盛雄(1978): 沖縄のサトウキビ畑に発生する雑草, 沖縄県農業試験場研究報告第3号, 1~20.
- 2) 仲宗根盛雄(1979): 新植サトウキビにおける冬雑草の被害と除草効果, 沖縄県農業試験場研究報告第4号, 8~16.
- 3) 金城賢・吉元寛(1964): 甘蔗に対する除草剤散布効果試験, 琉球農業試験場研究報告, 31~36.

昭和56年度冬作(麦類・いぐさ・水稻刈跡) 関係除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和56年度冬作関係除草剤・生育調節剤の作 用性および適用性試験成績検討会は、昭和57年

9月1日、植調会館（東京都台東区台東1-26-6）において開催された。ここに、その結果の概要を報告する。

本年度試験に供試された薬剤は、のべ33薬剤で（作用性試験として3薬剤、適用性試験として30薬剤）、のべ試験点数142点（除草剤……小麦88点・二条大麦18点・六条大麦12点・裸麦

6点・いぐさ4点・水稻刈跡12点、生育調節剤……2点）が実施された。

供試薬剤の有効成分および判定結果は、第1表の通りである。また、実用化可能と判定された除草剤・生育調節剤の使用基準は、第2表および第3表に示す通りである。

第1表 昭和56年度冬作関係除草剤・生育調節剤の有効成分および判定結果一覧表

I. 除 草 剤

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の種類	判定	判定理由または内容
(1) 麦類 A. 小麦	1) CAT・IPC	水和	・CAT ……………10% ・IPC ……………30%	日産化学工業	適用性	実・継	・生育初期処理で、寒冷地への地域拡大可能。
	2) DCPA	乳	・DCPA ……………35%	東京有機化学	適用性	継	・作用性の明確化（とくに小麦に対する影響について）。
	3) DNBPA	乳	・DNBPA ……………50%	北海三共	適用性	実・継	・播種後および麦4～5葉期処理で、寒地秋播小麦での実用化が認められた。今後春播小麦への拡大をはかる。
	4) DBN	水和	・DBN ……………45%	兼商	適用性	実・継	・前年通り。
	5) DBN	粒	・DBN ……………1%	兼商	適用性	実・継	・前年通り。
	6) HOK-15	水和	・DBN ……………30% ・DCMU ……………10%	北興化学工業	適用性	実・継	・寒地・寒冷地（畑作）および暖地（水田裏作）への地域拡大可能。
	7) HOK-15	細粒	・DBN ……………1.5% ・DCMU ……………0.5%	北興化学工業	適用性	継	・効果・薬害につき、さらに検討を要する。 ・スギナに対し効果高い。
	8) アイオキシニル	乳	・アイオキシニル ……………30%	塩野義製薬	適用性	実・継	・前年通り。
	9) KUH-813	細粒	・オルソベンカーブ ……………8% ・リニュロン ……………1.2%	クミアイ化学工業	適用性	継	・効果・薬害につき、さらに検討を要する。
	10) MB-206	粒	・リニュロン ……………1.5%	丸和バイオ	適用性	実・継	・寒冷地・温暖地東部

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の種類	判定	判定理由または内容
(1) 麦類 A. 小麦 (つづき)	10) MB-206 (つづき)			ケミカル			(畑作), 温暖地西部 (水田裏作)で実用化 可能.
	11) MCC	水和	・ MCC ……40%	日産化学工業, 北興化学工業	適用性	継	・ 効果・薬害につき, 薬量増でさらに検討 を要する.
	12) MOUH	水和	・ CNP ……50% ・ リニュロン ……10%	三井東圧化学	適用性	実・継	・ 寒冷地南部(水田裏 作)への地域拡大可 能.
	13) MSR-794	水和	・ オキサジアゾン ……25% ・ リニュロン ……25%	丸和バイオ ケミカル, 昭和ローデ ィア化学	適用性	継	・ 効果・薬害につき, さらに検討を要する.
	14) トリブニール	水和	・ メタベンズチアズロ ン ……70%	日本特殊農 薬製造	適用性	実・継	・ 従来通り.
	15) プロメトリン	水和	・ プロメトリン ……50%	塩野義製薬	適用性	実・継	・ 従来通り.
	16) S-28	乳	・ ブタミホス ……50%	住友化学工業	適用性	実・継	・ 寒地の小麦2薬期処 理への拡大可能.
	17) HOK-811	水溶	・ シアン酸ナトリウム ……90%	北興化学工業	適用性	継	・ 効果・薬害につき, 再検討を要する.
	18) TAW-19	水和	・ DCMU ……10% ・ プロメトリン ……35%	トモノ農薬	適用性	継	・ 効果の向上, 安定化 についてさらに検討 を要する.
	19) トリフルラリン	粒	・ トリフルラリン ……2.5%	塩野義製薬	適用性	実・継	・ 前年通り.
	20) MT-124	水和	・ 3-(2-ニトロ-5- -(2-クロロ-4- トリフルオロメチル フェノキシ)-フェノ キシ)テトラヒドロフ ラン ……40%	三井東圧化学	作用性	—	
	21) YH-44	乳	・ 1-(m-トリフロロ メチルフェニル)- 3-クロロ-4-クロ ロメチル-2-ピ ロリドン ……24%	八洲化学工業	作用性	—	
B. 大麦類	1) AH-501®	液	・ パラコート ……24%	旭化成工業	適用性	実・継	・ 温暖地西部・暖地へ の地域拡大ならびに 裸麦への拡大可能.

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の種類	判定	判定理由または内容
(1) 麦類 B. 大麦類 (つづき)	2) DCPA	乳	・ DCPA ……35%	東京有機化学	適用性	継	・作用性の明確化(とくに大麦に対する影響について)。
	3) DBN	水和	・ DBN ……45%	兼商	適用性	実・継	・前年通り。
	4) HOK-15	水和	・ DBN ……30% ・ DCMU ……10%	北興化学工業	適用性	実・継	・寒地・寒冷地・暖地および六条大麦への拡大可能。
	5) HOK-15	細粒	・ DBN ……1.5% ・ DCMU ……0.5%	北興化学工業	適用性	継	・効果・被害についてさらに検討(被害の軽減化)。
	6) トリフルラリン	粒	・トリフルラリン ……2.5%	塩野義製薬	適用性	実・継	・寒冷地(畑作)への地域拡大および六条大麦への適用可能。
	7) トリフルラリン	乳	・トリフルラリン ……44.5%	塩野義製薬	適用性	実・継	・寒冷地(畑作)への地域拡大および六条大麦への適用可能。
(2) いぐさ	1) NP-48(Na)	水溶	・アロキシジム…75%	日本曹達	適用性	実・継	・イネ科雑草対象の茎葉処理で実用化可能。 ・処理時期と被害の関係についてさらに検討を要する。
(3) 水稻刈跡	1) グリホサート	液	・グリホサート…41%	日本モンサント	適用性	実・継	・暖地早期栽培のミズガヤツリ対象および温暖地のセリ対象で実用化可能。 ・ミズガヤツリに対する処理適期幅については、さらに継続検討を要する。
	2) MW-801	液	・ピアラホス…32%	明治製薬	適用性	実・継	・温暖地東部、早期栽培への地域拡大可能(ミズガヤツリ対象)。

II. 生育調節剤

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の種類	判定	判定理由または内容
(1) 小麦	1) CCC	液	・ Chlormequat ……46%	北海三共, 日本サイアナミッド	適用性	実・継	・寒地の秋播小麦に対して、倒伏軽減効果を認め、実用化可能。 ・品質への影響について、継続検討を要する。

対象作物	薬 剤 名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の 種 類	判 定	判定理由または内容
(2) い ぐ さ	2) B A	液	・ N-6-ベンジルア ミノプリン……2%	興 人	作用性	—	・濃度を下げて再検討。

第2表 昭和56年度冬作関係実用化除草剤使用基準一覧表

区 分	薬 剤 名	処理法	処理時期	使 用 量	適用土壌	適用地帯	使 用 上 の 注 意
(1) 小 麦	CAT・IPC 水和	土壌処理	播種後.	g/a 20~30	壤土~埴土	寒地・寒冷地(畑作). 温暖地以西(水田裏作).	1) 砕土・整地・覆土を ていねいに行って、均 一散布に留意する。 2) 水田裏作で、土壌の 多湿な場合は使用をさ ける。
		生育初期 処理	麦2~3葉 期. 〔スズメノ テッポウ 1.5 L ま で。〕	20~30	壤土~埴土	寒地・寒冷 地(畑作, 但し寒地は 春播小麦に 限る). 寒冷地南部 以西(水田 裏作).	
	DNBPA 乳	土壌処理	播種後.	ml/a 30~40	全 土 壌	寒地(畑作, 但し秋播小 麦に限る).	1) DNBPA水和剤に準 ずる。
		茎葉処理	麦4~5葉 期.				
	D B N 水和	土壌処理	播種後.	g/a 20~25	壤土~埴土	温暖地東部 (水田裏作).	1) 砕土・整地・覆土を ていねいに行って、均 一散布に留意する。 2) イネ科一年生雑草優 占圃場を対象とする。
		生育初期 処理	麦2~3葉 期. 〔スズメノ テッポウ 1.5 L ま で。〕	20~25	壤土~埴土 埴 土	温暖地(水 田裏作). 暖地(水田 裏作).	
	D B N 粒	生育初期 処理	麦2~3葉 期. 〔スズメノ テッポウ 1.5 L ま で。〕	g/a 500~600	壤土~埴土 〔但し暖地 は埴土の み。〕	寒冷地南部 以西(水田 裏作).	1) D B N水和剤に準ず る。
	HOK-15 水和	生育初期 処理	麦2~3葉 期. 〔スズメノ テッポウ 1.5 L ま で。〕	g/a 20~30 〔但し、暖地 は20.〕	壤土~埴土	寒地~温暖 地東部(畑 作). 温暖地以西 (水田裏作).	1) 砕土・整地・覆土を ていねいに行って、均 一散布に留意する。
	アイオキシニル 乳	茎葉処理	広葉一年生 雑草発生揃	m/a 16~24	洪積火山灰 土	全域(畑作).	1) 広葉の農作物の茎葉 に散布液が飛散しない

区 分	薬 剤 名	処理法	処理時期	使 用 量	適用土壌	適用地帯	使 用 上 の 注 意
(1) 小 麦 (つづき)	アイオキシニル 乳 (つづき)		期(越冬前).		全 土 壤	暖地.	ように注意する.
			ヤエムグラ 2～4L 期.				
	MB-206 粒	土壌処理	播種後.	g/a 600	壤土～埴土	寒冷地・温 暖地東部(畑 作). 温暖地西部 (水田裏作).	1) 覆土が著しく浅い場 合には、葉害が出易い ので注意する.
	MOUH 水和	土壌処理	播種後.	g/a 40～60	砂壤土～ 埴土	寒地・寒冷 地(畑作).	1) 覆土が著しく浅い場 合には、葉害が出易い ので注意する.
				40～60	壤土～埴土	寒冷地南部 以西(水田 裏作).	
				40～50	砂 壤 土		
	トリブニール 水和	土壌処理	播種後.	g/a 28.5～42.8	壤土～埴土	寒冷地以西 (畑作・水 田裏作).	
		生育初期 処理	麦 3 葉期ま で. 〔スズメノ テッポウ 2～3 L まで.〕				
	プロメトリン 水和	土壌処理	播種後.	15～20 g/a	火 山 灰 土	全域(畑作).	1) 覆土の深さを2～3 cm に行う.
				20～30	砂壤土～ 埴土	寒冷地(水 田裏作).	
				15～20		温暖地以西 (水田裏作).	
	生育初期 処理	麦 2～4 葉 期.	15～20	火 山 灰 土	全域(畑作).		
	S-28 乳	土壌処理	播種後～麦 出芽期.	m/a 30～40	砂壤土～ 埴土	寒地(畑作).	1) 砕土・整地・覆土を ていねいに行って、均 一散布に留意する.
			播種後.	30		温暖地以西 (水田裏作).	
		生育初期 処理	麦 2 葉期.	30～40	全 土 壤	寒地(畑作).	
	トリフルラリン 粒	土壌処理	播種後.	g/a 400～500	砂壤土～ 埴土	寒冷地北部 (畑作). 温暖地以西 (水田裏作).	1) 砕土・整地・覆土を ていねいに行って、均 一散布に留意する. 2) 排水不良田では、効 果が劣る場合があるの で注意する.
(2) 大麦類	AH-501 ⑩ 液	生育期処 理	雑草生育期 (春期処理).	m/a 20～30	全 土 壤	温暖地以西.	1) 専用散布機を必ず 使用し、麦にかからな

区 分	薬 剤 名	処理法	処理時期	使 用 量	適用土壌	適用地帯	使 用 上 の 注 意
(2) 大麦類 (つづき)	AH-501®液 (つづき)						1) 100g/aに散布する。 2) 普通栽培の条間散布に限る。 3) 対象：二条大麦・ <u>裸麦</u> 。
	D B N 水和	土壌処理	播種後。	20～25 g/a	壤土～埴土	温暖地西部 (水田裏作)。	1) 砕土・整地・覆土を ていねいに行き、均 一散布に留意する。
		生育初期 処理	麦2～3葉 期。 〔スズメノ テッポウ 1.5 Lま で。〕	20～25 〔但し、寒冷 地南部は 25～30。〕	壤土～埴土	寒冷地南部 ・温暖地(水 田裏作)。	2) 対象：二条大麦・六 条大麦・裸麦。 〔但し、六条大麦は寒 冷地南部に限る。〕
	HOK-15 水和	生育初期 処理	麦2～3葉 期。 〔スズメノ テッポウ 1.5 Lま で。〕	20～30 g/a 〔但し、暖地 は20。〕	壤土～埴土	全域。 〔但し四国 を除く。 寒地～温 暖地東部 は畑作。 温暖地以 西は水田 裏作。〕	1) 砕土・整地・覆土を ていねいに行き、均 一散布に留意する。 2) 対象：二条大麦・ <u>六 条大麦</u> 。
	トリフルラリン 粒	土壌処理	播種後。	g/a 400～500	壤土～埴土 〔但し、暖 地は砂壌 土～埴土。〕	寒冷地(畑 作)。 温暖地以西 (水田裏作)。	1) 砕土・整地・覆土を ていねいに行き、均 一散布に留意する。 2) 対象：二条大麦・ <u>六 条大麦</u> ・裸麦。
	トリフルラリン 乳	土壌処理	播種後。	20～40 ml/a	砂壌土～ 埴土	寒冷地以西 (水田裏作) ・畑作。 但し、水 田裏作は 温暖地以 西。	1) 砕土・整地・覆土を ていねいに行き、均 一散布に留意する。 2) 対象：二条大麦・ <u>六 条大麦</u> ・裸麦。
(3) いぐさ	NP-48(Na) 水溶	茎葉処理	4月下旬～ 5月中旬。 〔イネ科雑 草の2～ 5 L期。〕	10～15 g/a	全 土 壌	いぐさ栽培 地全域。	1) 広葉雑草多発圃場 では、それに有効な除草 剤との体系で使用する。
(4) 水稻刈 跡	グリホサート 液	茎葉処理	水稻刈取後、 ミズガヤツ リ塊基形成 始期まで (9月下旬 まで)。	ml/a 50～100 〔100～50倍 液を5 l/a 散布〕	全 土 壌	暖地の早期 栽培。	1) 茎葉によく附着する ように散布する。 2) 対象雑草：ミズガヤ ツリ。

区 分	薬 剤 名	処理法	処理時期	使 用 量	適用土壌	適用地帯	使 用 上 の 注 意
(4) 水稲刈跡	グリホサート 液 (つづき)		水稲刈取後、 セリ生育期.	33～50 m/a 〔 150～100 〕 倍液を 5 l /a 散布.	全 土 壌	温暖地.	1) 茎葉によく附着する ように散布する。 2) 対象雑草：セリ.
	MW-801 液	茎葉処理	水稲刈取後、 ミズガヤツ リ塊茎形成 始期まで (9 月下旬 まで).	m/a 100～150	全 土 壌	温暖地東部 ・暖地の早 期栽培.	1) 茎葉によく附着する ように散布する。 2) 対象雑草：ミズガヤ ツリ.

第 3 表 昭和 56 年度冬作関係実用化生育調節剤使用基準一覧表

区 分	薬 剤 名	処理法	処理時期	使 用 量	適用土壌	適用地帯	使用上の注意・目的
(1) 小 麦	C C C 液	茎葉処理	出穂前20～ 10日.	50 m/a	全 土 壌	寒地（秋播 小麦）.	倒伏軽減効果.

注 1) アンダーライン(実線)は本年度拡大、追加された部分。なお、薬剤名のアンダーラインは本年度はじめて使用基準の作成されたものである。

注 2) アンダーライン(点線)はその一部が拡大されたもの。

昭和54年度非農耕地用 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和57年7月29日、農林水産省農薬検査所では、「除草剤（いわゆる非農耕地用）の農薬登録申請について」の取扱方針を公表した。したがって、当協会としては昭和54年度より「非農耕地用除草剤の連絡試験」を実施してきたが、今回、農林水産省農薬検査所よりその取扱方針が公表されるに及び、非農耕地用除草剤の試験成績の概要を、昭和54年度より順次紹介することとした。

昭和54年度非農耕地用除草剤試験成績検討会

は、昭和55年8月18日(月)、当協会研究所（茨城県稲敷郡牛久町柏田 860）において、試験場関係者および委託関係者81名参集のもとに開催された。

この検討会では、非農耕地用除草剤93試験（209点）について、試験担当者より報告があり、活発な討議の後に慎重な審議が行なわれた。

試験成績に対する判定結果は、次表の通りである。